

Q. 中高一貫教育について
古河市では平成25年4月に県立中等教育学校として開校されるが、当町としての考えは。

A. 現在、県内でも学校数は少ない状況であり、今後、先進地の視察及び有識者・保護者等との協議が重要と考える。

○国民健康保険の今後の取り組みについて

Q. 国保税の滞納者は、どの位あるのか、又その対策は。

A. 平成21年度（値上げした年）709世帯であったが、平成23年度は690世帯と減少した。対策として、納税相談、月末の午後7時迄の納付窓口延長等、より一層の収納率向上に努めている。

○行政懇談会について

Q. 町の今後の取り組みで防災計画について、特に備品関係の不足についての助成はあるか。

A. 補充については、茨城県の補助金等も含め検討したい。

議席9番 内海 和子 議員



○喫煙や薬物依存について

Q. 青少年の喫煙や薬物乱用は健全な心身の発達を阻害する。小中学校ではどのような取り組みをしているのか。

A. 学級活動や保健学習の時間を利用してタバコの害や薬物乱用防止について学習している。今後は女性の講師も視野に入れる。

Q. 女性の喫煙が増えている。家庭教育の中で、タバコの害などの取り組みは出来ないか。

A. 町内小中学校の1年生の保護者を対象としている家庭教育学級の中で取り組むよう検討する。

Q. 庁舎での職員の健康管理の点で対策はしているのか。

A. 健康増進法に基づき、庁舎内は全面禁煙とし、労働安全衛生委員会を組織し、安全衛生改善に努めている。

Q. 企業では禁煙の治療をしていると聞く。取り入れてもいいのではないか。

A. タバコは個人の自由なので強制はできない。

○サロン事業について

Q. 社協で計画中のサロン事業は私の前回質問の空き店舗利用の町づくりの構想と同じと考える。総合計画の中にどのように取り入れるのか。

A. 地域コミュニティの充実という観点で、第5次境町総合計画の前期計画の中に位置づける。

○火災について

Q. 最近火災が多い。その原因や対策は何か。

A. 今年発生した19件のうち、原因不明の火災が16件で、各行政区のパトロールの実施や警察と連携を密にしなから、取り組んでいく。

議席11番 木村 信一 議員



○農業の振興について

Q. 境町の農業の現状について

A. 作業従事者の高齢化の進展や価格の不安定等により、後継者不足が顕在化しており、農家戸数・就業者とも減少傾向にあり、平成22年の農林統計調査では、農家数は1千404戸、就業者数は1千568人である。

Q. 人、農地プラン作成に伴う意向調査の結果について。

A. 青年就業者がいると回答された方は55名で、青年就農給付金の対象者に該当すると思われる方は11名。認定農業者の方は182名。

Q. 担い手農家や新規就農者に対して町独自の対策は考えられないか。

A. 団体には組織活性化を支援するためソフト面での町独自の補助金の交付をしている。また、ハード面では町独自の補助金支援については大変厳しいところから、国や県の補助金制度を活用する中で、生産出荷体制の整備支援をしている。

Q. 原発事故から1年が経ち境町の農産物の風評被害の状況について。

A. 東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策境町協議会を窓口とする農産物の賠償は完了している。今年度8月末までの放射性物質測定結果は、全ての農産物で「検出せず」となっている。

○今後のまちづくりについて

Q. 「行政懇談会」での町民の声に対する今後の対応について。

A. 現在精査をしているところで、まともり次第、区長さんを通じて報告する。

○防災について

Q. 地震だけではなく、落雷や竜巻に関する研修や訓練を地域や各学校などで実施すべきでは。

A. 落雷や竜巻に関する研修及び訓練は今のところ実施していないが、今後は研修、訓練等も教員を中心に実施していきたい。

平成24年第3回臨時会

平成24年10月17日開会

○平成24年度境町一般会計補正予算(第5号)

猿島小学校グラウンド改修工事に関する補正をするもので、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千544万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億2千654万7千円とするもの。

○工事請負契約の締結

契約の目的
平成24年度境町立境第二中学校
屋内運動場改築工事
契約の方法
一般競争入札

第4回定例会のお知らせ

平成24年第4回境町議会定例会が12月10日(月) から14日(金)までの会期で開催される予定です。

12月10日(月)	本会議(開会、提出議案上程・説明)
12月11日(火)	本会議(一般質問)
12月12日(水)	本会議(一般質問)
12月13日(木)	常任委員会
12月14日(金)	本会議(採決、閉会)

契約金額
3億1千426万5千円
契約の相手方
篠原・福島特定建設工事共同企業体
代表構成員
境町大字長井戸1683番地
株式会社 篠原工務店
代表取締役 篠原純一
構成員
境町大字塚崎676番地
株式会社 福島工務店
代表取締役 福島市郎

◎広報編集委員会

委員長	濱野 健司
副委員長	飯田 進
委員	内海 和子
委員	田山 文雄
委員	渡邊 昇